



福島市小鳥の森通信

しじゅうから

小鳥の森で観察してみよう 121

カワセミ

分類：ブッポウソウ目カワセミ科

大きさ：17cm（体はスズメくらい）

一年を通して福島市内の川や池の近くで暮らしています。

背中のコバルト色の羽、おなかのオレンジ色の羽がとてもきれいです。

エサをとるときは、水中の小魚などに向かってダイビングをします。

小鳥の森で見られる場所と時期

4月～12月にネイチャーセンター下の池や五本松沼で見ることができます。



いおさん（3歳）
が書いてくれました。

4月 森のココに注目

水の中に新しい命が生まれます

いつもより寒かった冬が終わりを告げ、小鳥の森の水辺にも春がやってきました。施設内にある五本松沼の上部には田んぼ跡があり、現在、福島市内の民間企業と協同で生き物のすみかとしての整備を行っています。

3月下旬のこと。浅く水がたまった場所に、たくさんのカエルの卵のカタマリが見つかりました。産んだのはニホンアカガエルです。きっと4月中には水の中にはたくさんのオタマジャクシが見られることでしょう。

4月の水辺はカエルだけでなく、春を迎えた植物や昆虫でにぎわっているはずですよ。

森の中から聞こえる小鳥のさえずりに耳を傾けながら、明るい日差しにきらめく水辺を楽しんでみてはいかがでしょうか？



ニホンアカガエルの卵



ベニシジミ

今年の3月は寒い日が続きました



フキノトウ

この冬は、昨年暮れから寒い日が続きました。3月に入ってからも何度も雪が降り、そのたびに小鳥の森も真っ白になりました。

それでも3月中旬には、日当たり良い斜面には薄緑色のかたまりが……。そうです、春の使者フキノトウです。茶色の地面に現れた緑色の葉は、寒さも長くは続かないよ、と教えてくれているようですね。

小鳥の森の春と言えば、カタクリの花も欠かすことができません。例年よりは遅かったですが、20日過ぎには地面から特徴のある葉が現れました。毎年繰り返される初春の光景ではありますが、植物はどうやって季節の変化を知のでしょうか？冬の間眠っていたはずなのに、不思議です。

小鳥の森スタッフ
だより

フキ

名前の由来は、少しの風でも大きな葉がゆれることから「ハフキ（葉吹き）」、お尻を拭く時に使ったから「フキ」など色々あります。

山菜として食べるのは、葉の下にある「茎(くき)」と思われていることも多いですが、これは「茎」ではなく葉と茎をつなぐ「葉柄(ようへい)」です。「茎」は土の中に埋もれて見えません。また、若い花芽は「フキノトウ」としても有名で、雄株(おかぶ)と雌株(めかぶ)があり花の色が違います。雄株は淡い黄色、雌株は白っぽく高さ45cmくらいまで伸びます。小さなタンポポの綿毛が集まったようになり、風に種を運んでもらいます。これから花が次々に咲き始める季節です。身近な植物も詳しく調べてみると新しい発見があるかもしれません。

レンジャー・ながとまゆみ

お知らせ

カワセミの小径、ホオジロの小径
全線開通しました！

昨年11月から「森の若返り」を目的とした森林整備のため閉鎖されていた「カワセミの小径」「ホオジロの小径」は、4月日より全線開通いたしました。

雪道散策や森林散策を予定されていた方々には大変ご迷惑をおかけいたしました。

多くの樹木を運び出すため、林内に作業路を設置いたしました。当面、伐採した樹木や切り取った土砂が目立ちますが、日が当たり草木が成長してくると周囲の景観になじんできます。

小鳥の森の森林の若返りのため、しばらくの間見守っていただければ幸いです。多くの生き物が暮らしやすい自然環境が創出されるはずですから。

*小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページでカラー版をご覧ください。

*園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2022年4月号No.432／企画・発行：福島市小鳥の森／NPO法人野鳥の会ふくしま